神戸市立西神戸医療センター [急性期病院入院診療計画書 〕病院

患者様用

月 日

大腿骨近位部骨折 骨接合術を受ける方へ

主治医: 看護師 病名: 月/日 入院日~手術前 手術当日 術後1日 2日 3日 5日 7日 14~20日 4日 6日 8日 手術前 転院 退院 ベッド上安静 歩行可 ベッド上安静 行動の範囲は 主治医と理学療法士が 術後の経過、足の動きや支持力 痛みに合わせて、体を起こせます 起き上がることもできません などをみて決まります 後 主治医の許可がでるま 疾患・状態に応じて、車椅子や歩行可になる場合もあります 許可があるまでは看護師の介助のもとで は では入浴できません 体の向きを変えたいときは、 車椅子や歩行器で動いていただきます ナースコールでお知らせ下さ 2回/週:タオルで体を拭く 遠慮なくナースコールして下さい 院 1回/週:ヘアシャンプー 先 行動 の 痛みに応じて歩けます 地 始めは車椅子を使用します 域 連 少しずつ歩く練習をします 携パ ス用紙 続 21時以降絶食 絶飲食 朝食から普通食 普通食 ま 夕食まではたべられます 朝から絶飲食です 以降、制限はありません 食事 手術後3時間たって、お腹が す 水・お茶は24時まで飲めます 。OS1は手術の3時間 動いていれば飲水はできます 前まで飲めます。 手術部位の毛剃りをする場合があります ガーゼ交換開始 酸素吸入をします 創部の状態に 血栓予防のストッキ よりガーゼフ 髭剃り、爪切り (2~3回/週) ングを履きます リーとなります。 深部静脈血栓症予防の為、 化粧とマニキュアを落として下さい 入浴または清拭と洗髪をします 両足に空気の力でマッサージ 身につけている装飾 車椅子移乗が可能に 深部静脈血栓症予防靴下のサイズ合わせ する装置を取り付けます 品、眼鏡、時計、義歯、コンタクトレンズ なれば空気圧マッサー どを除去します。血栓 術前オリエンテーション を外して、貴重品は 手術した足に深部静脈血栓 予防のストッキング、弾 処置 身体を横向きになる方法の説明と練習 ご家族にお預け下さ 症予防のため、包帯を巻きま 力包帯は看護師と相 談してから除去して下 安静中の排便の方法の練習 車椅子の使い方の説明 ひ骨神経麻痺の説明 手術した側の足を挙上します ベッド上でのリハビリについて 車イスでトイレに行け れば尿管を抜きます 主治医及び麻酔科 医の指示にて必要な 内服薬はありません 持参薬を預かります 抗生剤の点滴 内服薬以外中止とな 主治医指示にて内服開始 注射 内服 持参薬内服再開 ベッド上で行うリハ リハビリの先生の診察があり ビリの説明をしま ます リハビリを開始します リハビリ 採血、レントゲンが適宜入ります 検査 手術結果説明(ご家族へ) 術後の内服薬の説明 退院準備についての説明 退院後の 入院オリエンテーション 手術の説明(説明がまだの方のみ) 転院調整を開始します 生活指導 説明 手術の説明はご家族と一緒にお聞き下さい 手術同意書等の書類の提出(持ち帰らないで下さい) 転院される患者様には、転院 麻酔科医の診察があります にむけての説明をします

上記の説明を受け同意しました。

※手術後特別な合併症がなければ2週間程度で転院となります。転院後は、より専門的なリハビリを継続していきます。

- 注1. 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査を進めて行くにしたがって変わる可能性もあります。
- 注2. 入院期間については現時点で予想されるもので、今後の経過で変更となる可能性もあります。
- 注3. この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知下さい。

こ石石	
_	(患者さんとの続柄)

[

急性期病院入院診療計画書

神戸市立西神戸医療センター

〕病院

患者様用

月 日

大腿骨近位部骨折 骨接合術を受ける方へ

主治医: 看護師 病名: 月/日 入院日~手術前 手術当日 術後1日 2日 3日 5日 7日 8日 14~20日 4日 6日 転院·退院 手術前 手術後 ベッド上安静 ベッド上安静 歩行可 行動の範囲は 主治医と理学療法士が 術後の経過、足の動きや支持力 痛みに合わせて、体を起こせます 起き上がることもできません などをみて決まります 疾患・状態に応じて、車椅子や歩行可になる場合もあります 主治医の許可がでるま 許可があるまでは看護師の介助のもとで では入浴できません 体の向きを変えたいときは、 車椅子や歩行器で動いていただきます 後 ナースコールでお知らせ下さ 2回/週:タオルで体を拭く 遠慮なくナースコールして下さい 転 1回/週:ヘアシャンプー 行動 痛みに応じて歩けます 手術した股関節をよい位置に の 始めは車椅子を使用します 保つため足の間に三角の枕 少しずつ歩く練習をします を挟みます 域 連 携 パ 用 紙 21時以降絶食 絶飲食 絶飲食 朝食から普通食 普通食 続 夕食まではたべられます 朝から絶飲食です 以降、制限はありません 食事 手術後3時間たって、お腹が 水・お茶は24時まで飲めます 。OS1は手術の3時間 ŧ 動いていれば飲水はできます 前まで飲めます。 手術部位の毛剃りをする場合があります 手術から帰ってきたら太もも お通じが出ないよう ガーゼ交換開始 におしりにガーゼを に内出血排液用のチューブ 髭剃り、爪切り (2~3回/週) (ドレーン)が入っています 化粧とマニキュアを落として下さい 入浴または清拭と洗髪をします 深部静脈血栓症予防靴下のサイズ合わせ 手術しない側の足 背中または足の付け根に痛 車椅子移乗が可能に に、血栓予防のス み止めのチューブが入ってい なれば空気圧マッサー トッキングを履きます ます ジを除去します。血栓 術前オリエンテーション 酸素吸入をします 予防のストッキング、弾 処置 身体を横向きになる方法の説明と練習 力包帯は看護師と相 身につけている装飾 深部静脈血栓症予防の為、 安静中の排便の方法の練習 談してから除去して下 品、眼鏡、時計、義歯、 両足に空気の力でマッサージ 車椅子の使い方の説明 コンタクトレンズを外し する装置を取り付けます ひ骨神経麻痺の説明 て、貴重品はご家族に お預け下さい ベッド上でのリハビリについて 手術した足に深部静脈血栓 車イスでトイレに行け 症予防のため、包帯を巻きま┃れば尿管を抜きます 手術した側の足を挙上します 9時頃に点滴の針を 内服薬はありません 持参薬を預かります 入れ、それ以降は持 抗生剤の点滴 続で点滴をします 主治医指示にて内服開始 注射 主治医及び麻酔科医の指示にて必要な 内服 内服薬以外中止とな 持参薬内服再開 ります。 ベッド上で行うリハ リハビリの先生の診察があり ビリの説明をしま ます リハビリを開始します リハビリ 90 採血、レントゲンが適宜入ります 検査 手術結果説明(ご家族へ) 術後の内服薬の説明 退院準備についての説明 退院後の 入院オリエンテーション 手術の説明(説明がまだの方のみ) 転院調整を開始します 生活指導 説明 手術の説明はご家族と一緒にお聞き下さい 手術同意書等の書類の提出(持ち帰らないで下さい) 転院される患者様には、転院に 麻酔科医の診察があります むけての説明をします

上記の説明を受け同意しました。

※手術後特別な合併症がなければ2週間程度で転院となります。転院後は、より専門的なリハビリを継続していきます。

- 注1. 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査を進めて行くにしたがって変わる可能性もあります。
- 注2. 入院期間については現時点で予想されるもので、今後の経過で変更となる可能性もあります。
- 注3. この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知下さい。

月	ご署名	
		(患者さんとの続柄)